ペアレント・メンター新聞
フルーツバスケット

第3号 2021年 6月28日
<発行>
京都府
京都府発達障害者支援センター
はばたき

発刊のごあいさつ

『ペアレントメンターの発展を願って』　京都府自閉症協会会長　岡 美智子 様

日本のペアレントメンター事業は日本自閉症協会が始め、2010 年に厚生労働省が発達障害者支援体制整備事業として、メンターの養成を位置付け、以後少しずつ広まってきているところです。

親御さんはわが子がもしかしたら自閉症ではないかと感じた時、次第に募ってくる不安に苦しむ日々が多かれ少なかれあったことでしょう。　そのような時、周囲に同じ経験を持ち、話にじっと耳を傾けてくれて生活に即したアドバイスをしてくれる親御さんがいてくれたら、どんなにありがたいことでしょう。

今はインターネットで容易に情報を入手したり、人とつながれる良さはありますが、個別の話を聞いてもらえることで手ごたえを感じつつ共感しあえる充実感は、より深いものがあると思います。

メンターの皆さまは、障害特性や福祉制度、についてなどもよく学んでおられますが、一人で苦しい時には、どうかメンター同士で助け合ってください。そして発達障害者支援センターの方々が皆さん方を支えて下さいます。

関係機関の皆さまも、メンターと若い親御さんたちとが話し合える機会を設けるなど、メンター事業をどうぞ積極的にお役立て下さるようお願いします。　メンターさんの活躍は、地域においても良いつながりを育て、親の孤立を少しでも防ぐ手立てとなるのではないでしょうか。
大いに応援致します。

ペアレント・メンターって？！

メンターとは「信頼できる相談相手」という意味であり、ペアレント・メンターは「親による親のためのサポーター」です。

発達特性を持つ子どもを育ててこられた経験のある保護者の方が、子どもの発達が気になる保護者の方の心配や悩みを聴き、気持ちに寄り添い、共感したり、地域の情報を提供したりして、子育てを応援します。専門家による支援とは違った効果があるといわれており、厚生労働省においても有効な家族支援として推奨されています。

ペアレント・メンター交流会開催！

5 月 16 日(日)に交流会をオンライン開催しました。ペアレント・メンター登録者をはじめ、発達障害圏域支援センター、保健所からご参加いただき、事務局と合わせ 14 名での交流の機会となりました。コロナ禍の影響で、今まで通りのやり方ではうまくいかないこともありますが、こんな時だからこそできること、求められていることを改めて学び、共有できる時間となりました。今後の活動に活かしメンター活動を充実させていきたいと思います。

📖本の紹介📖　紹介者：圏域支援センターあん スタッフ

『楽々かあさんの

伝わる！声かけ変換』　大場 美鈴/著

あさ出版　定価 1,600 円＋税

こどもたちに話しかけるとき、できるだけ肯定的に、分かりやすい言葉を使って伝えることの大切さを感じます。気持ちを切り替えるためのスイッチ言葉、相手とうまくやり取りするふんわり言葉やクッション言葉など、言葉かけはいろいろあります。でも、日常の中で咄嗟に言葉を考えて伝えることは難しいですね。何か良い本ないかなぁと探していたら見つかりました♡

何よりこの本には、こどもを大切にするのと同じくらいお母さん、お父さん自身も大切に、という視点で「自分のための声かけ」のチャプターがあるのもいいなと思います。

新聞の名前決定！！

『フルーツバスケット』

令和２年冬に創刊したペアレン・トメンター新聞ですが、創刊から２号までは、「ペアレント・メンター新聞（仮）」で発行していました。みなさまに新聞の名前を募集し、ご応募いただいた名前から、みなさまにご投票いただきました。ありがとうございました。おかげさまでこの度、正式な名前が決定しました❣

『フルーツバスケット』

今後ともよろしくお願いいたします。

『フルーツバスケット』の生い立ち

昨年度、コロナ禍のためメンター活動が思うようにできず、あるメンターさんから、“少しでもメンターさんのモチベーションを維持するために何か情報発信などができないか”というご提案をいただきました。そこで、事務局で話し合いメンター新聞を発刊することになりました。メンターさんの自己紹介やお勧めグッズ等の発信、事務局からは発達障害児者支援やメンター事業に関する発信を行い、メンター活動の広報にも役立てていきたいと思います。年３回の発刊を予定しています。

メンターさん方にはもちろん、発達障害児者支援にかかわる皆様に愛される新聞になるように努めていきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

『ペアレント・メンター新聞 フルーツバスケット』では、みなさまからの情報やご投稿を募集しております。また、ご意見やご感想などありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております。

新聞に関するお問い合わせは、京都府発達障害者支援センターはばたきまでお願いいたします。